

# Catch Ball

# 1

Vol.867



## CONTENTS

- 新年のご挨拶 … 1～5
- フォトだより … 6
- 営農計画書作成・審査について ほか … 7～8
- JAグループ通信、理事会だより … 9
- 青年部特集 vol.12、こよみ・行事 … 10
- 農業者年金について ほか … 11

## ● スプラビパラの一言 ●

本年も昨年同様、ご指導の程  
宜しくお願い致します。



謹賀新年





# 年頭にあたって

美 市 農 業 協 同 組 合

代表理事組合長

岸

定

あけましておめでとごうございま  
す。

皆様にはつつがなく新年を迎えら  
れたことと、こころよりお慶び申し  
上げます。

近年、全国的に自然災害が多発す  
る中、ここ美唄においては軽微な被  
害にとどまり、美唄の恵まれた環境  
を享受できて来たのですが、昨年は  
それが叶わずすべての作物が不振に  
終わった残念な年でした。そのよう  
な中にありながら、各方面において  
ご支援、ご協力をいただきましたこ  
とをあらためてお礼申し上げます。  
さらには、農協もたいへんだらう頑  
張ってくれと、激励のお言葉までい  
ただきましたことを重ねて感謝申し  
上げます。

おりしも、創立70周年という節目  
の年を残念な思いで締めくくること  
とはなりましたが、めまぐるしくか  
わる農業政策や経済環境に翻弄され  
ながらも、農業振興の一翼を担い続  
けてきた先人たちのご功績とご苦労  
に想いをはせるとき、与えられた責  
任の重さに今さらながら身の引き締  
まる思いであります。

さて、今年の干支は「己亥(つちの  
とい)」の年となります。「己」は成長  
した植物が整然とした状態を意味す  
るようです。「亥」は種子の中に閉じ

こもっている状態の意味があるそう  
です。これらが象徴するのは、完成し  
た自己や組織が、それまでの主義・  
規律・秩序などを見直し、次の段階  
を目指す準備をするという年回りの  
ようです。内なる充実をはかり、次の  
ステージの準備をする年とのことで  
す。

くしくも、美唄市農協においても  
第10次農業振興計画および中期経営  
計画の最終年であり、昨年の計画未  
達をどこまでカバーし、次なる計画  
策定をより充実したもの出来るか  
の重要な年といえます。農協内部の  
みならず、経営基盤充実にむけクリ  
アしなければならぬハードルは多  
いと捉えるところではす。

かつての3分の1になってしまっ  
た正組合員戸数、半分になってしま  
った取扱販売額、長引く低金利政策  
による信用事業収益の低下と、農協  
を取り巻く状況も大きく変化してき  
ました。なにより組合員の生活も都  
市住民と遜色ないまでに向上し、さ  
らには作付けする作目も多岐にわた  
るようになってきております。当然、  
農協に求められる機能も様変わり  
し、これまでの手法の継続だけでは  
その存在価値を問われることとなり  
ます。

次代につなげる新たな協同組合の

価値創造にむけ、組合員ニーズの多  
様化に対応できる事業運営の展開を  
加速させねばと捉えるところです。

もちろん、時代や環境がどのよう  
に変わろうと「すべては組合員と地  
域のために」という、農協に課せられ  
た基本的な使命は何ら変わるもので  
はありません。さらにはこれまでも、  
時々の要請にこたえた、種々の取り  
組みを他所にさきがけて展開してき  
たと自負するところでもあります。  
ただ、時代はさらなるスピード感を  
求めているとも考えます。

それらをふまえた上で、農業振興  
と地域への貢献にむけて、目先の課  
題をひとつずつ解決することは無論  
のこと、時代が求める「変化」を好機  
ととらえ、5年・10年先をにらんだ  
取り組みこそが求められていると思  
うところです。なかなか先の読めな  
い時勢ではありますが、臆すること  
なく組合員や地域の皆さんとともに、  
一歩踏み出す年にしたいと願う  
ものです。

この新しい年がより佳き年になり  
ますよう、心より祈念いたしました  
新年の挨拶とさせていただきます。

# 新年を迎えて



美 唄 市 農 業 協 同 組 合

専 務 理 事 伊 藤 正 人

新年明けましておめでとございます。新たな年を皆様ご健健で迎えられることと拝察しお慶び申し上げます。日頃よりJAびばいの事業運営に深いご理解とご協力を頂いていますことにあためて感謝申し上げます。

昨年は美唄市農協創立70周年の記念の年でもあり、良年を期待致しましたが残念ながら我々にとって試練の年となってしまいました。

顧みますと、昨年は大雪に始まり融雪期に苗工房での再生油流出事故の発生、6月の低温、7月の長雨と日照不足により、グリーンアスパラガス、ハスカップの収穫量の低迷、それに続く麦、米、大豆の主要3品目がいずれも収穫量が伸び悩み異例の年となりました。私が就農して以来、全ての農作物が平年を下回る事は記憶に無く、到底満足の出来ない収量報告を啞然としながら眺める大変つらい年となってしまいました。

さらには、猛烈な風を伴う台風の襲来、その僅か1日後には胆振東部で最大震度7を記録した地震とそれに伴う全道一斉の停電など北海道が未だかつて経験したことが無い災害

の連続で自然の猛威の前に人間の存在がいかに儻いものであるのかを思い知ることとなりました。幸い当地域では大きな被害には至りませんでした。胆振東部地震によって亡くなられた方々には心から冥福をお祈りするとともに、道内各所で被災された皆様には衷心よりお見舞い申し上げます。

農業を取り巻く情勢は、内にあるには、「農業」の2文字がいつの間にか「農協」へすり替わった「改革」の判定の時を迎えます。外にあるには、昨年末のTPP11の発効をはじめとして日欧EPAが2月1日発効を迎えるなど、生産者にとって痛みを伴う状況に対し、国は十分な国内支援策を示すことが出来ていないように思

います。さらに、昨年末に「小農と農村で働く人びとの権利に関する国連宣言」が国連委員会で採択される際にも「賛成」でも「反対」でも無く「棄権」という消極的な政府の対応を目の当たりにする度に、行き場のない憤りを覚えます。今年も国連の提唱する「家族農業の10年」の初年度でもあります。本来、家族農業が主体の日本農業こそ、その重要性を積極的に

評価すべきではないでしょうか。

新たな年号となる今年、明るい話題をお知らせ出来ないことが真に不本意ではありますが、JAびばい役員一同、状況に屈することなく組合員のみなさまとしっかりと手を携え、共に新たな年を歩んで参りたいと思えます。まずは足元からしっかりと見直し、経営の健全化と収益の安定を目指します。農業を通して人づくりに努め、次の世代へしっかりと受け継いで行ける豊かな地域農業を目指します。

最後に、新たな年号となる今年、組合員ならびに地域の皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。



# 平成31年の年頭にあたり



北海道農業協同組合中央会

会長 飛田 稔 章

組合員並びにJA役職員の皆様には、輝かしい平成31年の新年を迎えられたものと心よりお慶び申し上げます。

皆様におかれましては、日々の営農と併せ、地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対して、改めて敬意と感謝を申し上げます。

昨年の北海道農業は、春先は気温も高く、農作物の生育は平年並みで推移しましたが、7月の豪雨や台風21号により、農作物の倒伏や落果、農地・農業用施設の損壊など、全道各地域に甚大な被害が発生しました。

さらに9月6日に発生した北海道胆振東部地震により尊い命が失われるとともに、農畜産物や農業施設等に未曾有の被害が発生し、道内全域が停電となる「ブラックアウト」の発生により、組合員の営農やJAグループ北海道・農業関係組織の集出荷、輸送、製造、保管体制に多くの影響が生じてしまいました。

現在、JAグループ北海道を挙げて、1日も早い、復旧・復興に向け、全力でその支援対策に取り組んでいるところであります。

作目別の作況をみますと、米は、作

況指数が90の「不良」、小麦は、天候不順の影響により、収量・品質とも平年を下回る結果、てん菜は、収量・糖度も概ね平年並み、生乳は、胆振東部地震の影響と、今後は飼料作物の品質低下等による生乳生産への影響が懸念されているところです。

国際貿易交渉については、9月27日、日米両国が「日米物品貿易協定」(TAG)の交渉開始に合意したことが発表されました。

今後、TAG交渉において、米国側から過去の経済連携協定で合意した以上の関税引き下げを求められる懸念があるため、その動向を注視していくとともに、農畜産物を犠牲にしない毅然とした対応を求めてまいります。

さて、昨年11月には、第29回JA北海道大会を開催しました。大会では、前回大会の決議事項を継承し、「農業所得増大」と「担い手確保・育成」の加速に取り組むとともに、「サポーターづくり」の活動拡大として、地域を共に支える准組合員の皆様のご意見の把握に、これまで以上に取り組むことを決議しました。

また、協同組合の原点を、あらためて見つめ直し、「新たな協同組合」の姿を継続的に討議することも決議して

おります。今後、組合員の多様な価値観やニーズに対応できる事業運営の展開を検討してまいります。

そして、この3年間の実践期間のうち、2019年5月には政府が進める「農協改革集中推進期間」の期限、2011年3月には「准組合員利用規制の調査期限」を迎えますが、JAグループ北海道としては、改革は自ら行うものとして、「力強い農業」と『豊かな魅力ある農村』の実現に向けて、JAグループ一丸となって、大会決議事項の実践を通じた自己改革を進めてまいります。

結びになりますが、今年の干支は己亥(つちのこ)です。

亥には、「無病息災」や「安定した状態」で始動を待つ準備期間」の意味があるとのことでもあります。

今年はこの亥年にあやかり、災害がなく、そして組合員の苦勞が報われる実り多い豊穰の一年となりますよう、併せて、北海道農業並びに組合員、役員の方々の皆様の一層の発展を心よりご祈念申し上げ、新年にあたってのご挨拶といたします。

# 平成30年を振り返って



空知農業改良普及センター

所長 常盤 正由紀

新年明けましておめでとつござい  
ます。皆様におかれましては、新春を  
ご健勝で迎えられたことを心よりお  
慶び申し上げます。また、日頃より農  
業改良普及センターの活動に、ご理  
解とご支援をいただいておりますこ  
とに対し、心より感謝申し上げます。

さて、昨年は3月の気温が平年よ  
りやや高く推移し、日照時間が多く  
降雪量も少なかったことから、融雪  
期は5日程度早くなりました。その  
後も、好天が続いたため、ほ場の乾燥  
も進み、耕起作業は平年より7日程  
度早まり、その他の春作業、作物の生  
育も順調に進みました。

しかし、6月8日以降の低温・日  
照不足、多雨、7月3日の大雨、8月  
中旬の低温・多雨は、各作物に生育  
停滞や被害をもたらしました。その  
後、9月5日の台風21号では強風に  
よるビニールハウスの損壊や収穫間  
近の作物の損傷、果樹の倒木等、強風  
害が発生しました。さらに、9月6日  
未明には厚真町を震源とする北海道  
胆振東部地震が発生し、ブラックア  
ウト（広域停電）による生乳の廃棄や  
搾乳中止による牛体の不調、予冷施  
設の停止等による物流上の損失等が  
発生しました。

大きな気象変動や相次ぐ大災害と

いった目まぐるしい変化の一年とな  
りました。

このような中、水稲では穂数が平年  
より10〜15%少なく、品質は青未熟  
粒が多く、製品歩留まりは低下しま  
した。要因として、初期生育不良によ  
る穂数不足、遅発分けの有効化に  
よる登熟のバラツキや8月中旬の低  
温日照不足に伴う登熟の遅れによる  
ものと推察されます。

北海道農政事務所による南空知の  
予想収量（10月15日現在）は、10%当  
たり468kg、作況指数87と発表さ  
れています。

また、秋まき小麦をはじめ、大豆や  
たまねぎ等他の作物においても、厳  
しい条件にさらされ、収量・品質は  
平年を下回る結果となりました。た  
だ、どの作物においてもほ場や農家  
間に差があることは事実であり、い  
かに気象変動に左右されず、安定し  
た収量・品質を確保するかの課題が  
残りました。優良事例を見ると排水  
対策や土壌改良等基本技術の励行が  
減収を最小限にとどめることにつな  
がっています。同時に転作畑におい  
ては有機物の補給も踏まえた輪作体  
系の確立が、農産物の安定生産に欠  
かせないことも改めて実感していま  
す。北海道命名150年の節目の年

に学んだことを今後活かしていく  
ことが重要なことと考えます。

空知では水稲地帯の特質を生か  
し、以前から水稲の乾田直播や無し  
ろかき栽培と畑作物を組み合わせた  
空知型輪作が提案され、取り組みも  
広がっています。

普及センターでは「土壌物理性改善  
プロジェクト」を立ち上げ、①空知型  
輪作の推進、②作業機械による透排  
水性の改善、③有機物施用による効  
果の実証に取り組んでいます。

今後、プロジェクトでの調査・試  
験結果を踏まえ、農家の皆さんが取  
り組みやすい改善方法を提案し、土  
壌の改善を進めていきたいと考えて  
います。

普及センターは皆様とともに地域  
課題に取り組み、その道筋を切り拓  
いていくために、迅速な情報提供と  
有効な技術や地域づくりの提案等  
行ってまいります。生産者及び関係  
機関の皆様には一層のご協力をお願  
い申し上げます。新しい年が、皆様  
にとりまして、希望に満ちた幸多き年  
となりますよう、心よりお祈り申し  
上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



 J A びばい女性部  
部 長 川 田 照 子

新年、明けましておめでとうございます。

新春を皆様が健やかに迎えられましたことを謹んでお慶び申し上げます。

日頃より女性部の活動に対しまして、J A びばい並びに各関係機関の皆様には深いご理解とご協力を頂いておりますことに心から感謝申し上げます。

昨年9月に発生した胆振東部地震は、道内に甚大且つ様々な被害をもたらしました。私の主人の同級生ご夫婦も犠牲となりました。残された遺族、被災された方々へ心よりお見舞い申し上げますと共に、微力ではありますがこれからも遠くから応援していきたいと思っております。

農業を振り返りますと、春耕期より順調に進んだものの、6月中旬以降の天候不順と台風により、基幹作物である米・麦・大豆の収量は例年より2～3割減となり、農業経営と家計に大きな影響を及ぼしました。天候不順・自然災害に大きく左右される農業の厳しさを改めて感じさせられた1年となりましたが、このような時こそ、私たち女性は農業者のパートナーとしてしっかり農業全体を見据え、女性部活動に取り組みなければならないと思っております。

さて女性部は、8月のJ A びばい祭では部員が丹精込めて育てた農産物を販売し、市民と交流しながら「地産地消」の大切さと「安全・安心」をPRしております。また、12月の収穫祭では新米おぼろづきのおにぎり、部員手製のお漬物、加工部会の手作り味噌を使った豚汁を試食していただく他、手芸品や亀のしめ飾りなどを販売しております。例年同様どちらの催しも市民の皆様から好評をいただきました事に、心から感謝を申し上げます。

最後になりましたが、より一層「安全・安心」な農産物をお届けできるよう、女性部一丸となって努力して参りますので、今後とも部員や市民の皆様のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。本年、皆様のご健勝とご多幸、最良の1年となりますよう心からご祈念申し上げます。新春のご挨拶とさせていただきます。



 J A びばい青年部  
部 長 米 内 彰 吾

新年あけましておめでとうございます。

皆様が輝かしい新春を迎えられたことを謹んでお慶び申し上げます。

日頃より、青年部活動に対しまして、J A びばい並びに各関係機関の皆様には、深いご理解とご協力をいただいておりますことに心より感謝申し上げます。

昨年は春こそ幸先の良いスタートでしたが、6月中旬から7月中旬にかけて低温・日照不足等の影響で作物の生育が進まず、基幹作物の米・小麦・大豆の収量は平年を下回る結果となり、農業の厳しさを改めて感じさせられた1年となりました。

我々青年部は創立70周年を迎える節目の年であったことから、部員一同さらなる団結を誓い活動をスタートさせました。2月は、スノーメッセージを作製。7月は、部員視察研修と消費者交流会を実施。交流会は「食と農」への関心を深めてもらうため、教育大の学生と市内の教職員を招き交流を図りました。8月のJ A びばい祭では、70周年を記念したピザ窯を製作。美唄産にこだわった窯焼きピザを販売し、完売することができました。祭自体も多くの来場者で賑わい大成功でした。また、4年ぶりに機械学習会を開催。参加企業10社の協力で、大型トラクターの試乗、GPSの精度を体感できる学習会となりました。10月は、「くるるの杜」で美唄産おぼろづきの試食とPR販売しました。11月は、創立70周年記念式典・祝賀会を挙行し無事終えることができました。一方、営農・栽培技術向上を図る学習会、現地講習会を年間通して実施し、個々のスキルが高められたと思っております。こうして各事業・活動の実施と成功は盟友をはじめ、女性部・農協役員、各関係機関の皆様のご協力の賜物と深く感謝申し上げます。今後も仲間と共に切磋琢磨しながらよりよい組織作りを目指し活動して参ります。

最後になりますが、本年もJ A びばい並びに各関係機関の皆様が一層のご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、皆様方と青年部盟友のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

# フォトだより



Aコープは「接客接遇講習会」を大会議室で開き、午前と午後に分かれ従業員 37 人が参加した。テーマは「接客マナーとお客様のための接遇を再確認する」。参加者はサービス向上へ向け真剣に聞き入っていた。(11/14)



元村の笹原俊明さんが 11/6 に開催された「第 15 回北海道きのこ品評会」菌床生しいたけ部門で北海道知事賞を受賞しました。笹原さんおめでとうございます。これからも素晴らしい生しいたけを生産して下さい。(11/13)



女性部は農村女性講座(1 回目)と女性部懇談会を大会議室で開き 56 人が出席。講座のテーマは「Aコープ酢料理講習会」。懇談会では各支部・シルバー部会、フレッシュミズ部会から活動報告などが行われた。(11/20: 写真は懇談会)



J Aびばい農場でタラノキの穂木を採取する作業を職員 10 人で行いました。長さ 1 畝ほどの太い穂木 380 本を採取。思いもよらぬ好天に恵まれ、防寒着の下に汗をかきながらの作業となった。(11/20)

## ▶▶ 農業経営基盤強化準備金の申請手続きについて ◀◀

平成 30 年度、準備金を積立する方または農用地等の取得に充てる方は農林水産大臣に証明書発行を申請しなければなりません。下記の日程で申請手続きをいたします。

### 【持参いただくもの】

- 農協専用印(法人の方は法人印)
- 取崩しの場合
  - [農用地]・農用地利用集積計画書(両者の押印のある書類)
  - ・振込依頼書または領収書(金額と日付のわかるもの)
  - [機械等]・販売証明書(各販売店で発行)
- 申告が税理士等の方(農民協の方は不要)
- 平成 29 年度分必要経費算入に関する明細書(準備金翌年繰越額の確認書類です)
- なお、平成 29 年度積立がない方は直近の同様明細書

月 日	区分	対象地区
1月15日(火)	午前	進徳、一心、共練、東明
	午後	癸巳、沼の内、開発
1月16日(水)	午前	上美唄開拓、上美唄
	午後	元村、山形
1月17日(木)	午前	茶志内、北美唄
	午後	中村

【場 所】 本所2階 企画相談課  
 【時 間】 午前9時～午後5時まで  
 【担 当】 森  
 【連絡先】 企画相談課 63-2165

※受付は 1 名で対応となりますので、お待ちいただく場合がありますので、ご理解下さい。  
 ※指定日に都合の悪い方は、1 月 2 8 日(月)以降に来協をお願いいたします。



平成31年度

【企画相談課からのお知らせ】

# 営農計画書の作成・審査について

平成31年度の営農計画書の作成及び審査を左ページの日程にて行います。

日程をご確認の上、遅滞なくお越し頂き計画書の作成・審査を行って頂くよう宜しくお願いします。  
なお、ご都合が合わない場合には事前に企画相談課へご連絡下さいませよう重ねてお願いします。

●会場/本所2階 企画相談課

●ご用意いただくもの

①クミカン取引専用印

②印紙代200円

\*クミカン取引は当座貸越契約のため必要です。

\*貯金担保にてクミカン運用をされている方は、担保されている貯金の「お届け印」をお持ち下さい。

③郵送された営農計画書作成・審査に係る資料一式

●その他

- ・作成審査には、時間がかかる場合がございます。ご理解ご協力をお願い致します。
- ・企画相談課にてパソコン作成致します。事前入力を行う方は「記録媒体 USB」等をお持ち下さい。
- ・家計費以外の現金供給は基本的に認められません。計画書作成にあたっては、振込での対応をお願い致します。



## 忘れずに！

平成31年度に農地・農機具等の購入、施設の建設などを予定されている方は、営農計画作成時に必ずご相談下さい。

急な申し入れには「資金借入」が出来ない場合もございます。早めのご相談をお願い致します。

◇お問い合わせは、企画相談課 TEL(0126)63-2165 (直通)まで

亥年生まれの職員紹介

2019

前列左から篠永一誠(農産園芸課)、山下敏弘(農産園芸課)、佐藤俊弥(共済推進課)  
後列左から杉野有沙(総務課生活店舗係)、牧田さなえ(総務課)、阿部みゆき(農産園芸課)

双子座



物事を邪推しやすく、不要なトラブルを招く原因に。余計な発言は控えるべき。開運には窓や鏡を磨くと効果大

牡牛座



前向きな気持ちになれる月です。やってみよう。ことがあるなら、積極的に取り組んでみて。新チャレンジも幸運

2019.1



# 平成31年度 営農計画書作成・審査日程

月日	時間	農事組合	組合員コード	月日	時間	農事組合	組合員コード
2月1日 (金)	9:00~10:00	進徳1 A		2月15日 (金)	9:00~10:00	元村1	6204~6709
		進徳2			10:00~11:00		6803~9991
		進徳3			13:00~14:00	元村美富	6902~7009
	10:00~11:00	進徳西			14:00~15:00		7016、9807~9881
	13:00~14:00	進徳東1		2月18日 (月)	9:00~10:00	山形1	7105~7209
		共練中央			10:00~11:00		7301~7402
		共練東			13:00~14:00		7407~7601
14:00~15:00	東明1		14:00~15:00		山形2	9802、9808	
	東明2		15:00~16:00	7508~7608			
	東明東7条			7610~7615			
2月4日 (月)	9:00~10:00	一心	1108~1210	2月19日 (火)	9:00~10:00	茶志内1 兵村	
	10:00~11:00		1212~1217		10:00~11:00	茶志内1 中央	
	13:00~14:00		1301~1317		13:00~14:00	茶志内2 南1	
	14:00~15:00		1401~1425			茶志内2 南2	
2月5日 (火)	9:00~10:00	癸日南		14:00~15:00	茶志内2 新行		
	10:00~11:00	癸日中央			茶志内2 東		
	13:00~14:00	癸日北	3401~3415		茶志内2 東1		
	14:00~15:00		3416~3503		茶志内2 東6線		
2月6日 (水)	9:00~10:00	沼の内南1		2月20日 (水)	9:00~10:00	茶志内3 新成	9203~9209
	10:00~11:00	沼の内南2			10:00~11:00		9301~9309
	13:00~14:00	沼の内中央			13:00~14:00	茶志内3 榎本	9506~9525
	14:00~15:00	沼の内北1	4103~4202				14:00~15:00
	2月7日 (木)		9:00~11:00	沼の内北2		2月21日 (木)	9:00~10:00
13:00~14:00	開発	4509~4517	2月22日 (金)	10:00~11:00	茶志内協和豊進		8303~8326
		4523~4810		9:00~10:00	北美暎光栄		4011~4603
14:00~15:00				10:00~11:00	北美暎光栄	4610~4654	
2月8日 (金)	9:00~10:00	開発	4819~4910	13:00~14:00	北美暎平成	4633、9602~9606	
	10:00~11:00		4913~4920	14:00~15:00		9608~9716、	
	13:00~14:00		4923~4938		9819、9867		
	14:00~15:00		4939~4940				
2月12日 (火)	9:00~10:00	拓辰	5010~5020	2月25日 (月)	9:00~10:00	中村南	9901~9911
	11:00~12:00		6001~6112		10:00~11:00		9815、9913~9922
	13:00~14:00	上美暎東栄	5706~5823		13:00~14:00	中村菱沼	9803、9927~9933
	14:00~15:00		5919、9888、9898		14:00~15:00		9936~9940
2月13日 (水)	9:00~11:00	個人	2959、3022、3043	2月26日 (火)	9:00~10:00	中村中央	
	13:00~14:00	上美暎	8304、8515、8601		10:00~11:00	中村北	9804、9958~9962
			5101~5305		13:00~14:00		9963~9972
14:00~15:00		5313~5412	14:00~15:00		中村東		
2月14日 (木)	9:00~10:00	上美暎	5414~5603	2月27日 (水)	9:00~10:00	団体	9805~9827
	10:00~11:00		5604~5709		10:00~11:00		9830~9838
	13:00~14:00		5713~5910		13:00~14:00		9851~9874
	14:00~15:00		9806、9828		14:00~15:00		9883~9892
9849、9882							
2月28日 (木)	9:00~11:00	予備日		3月1日 (金)	9:00~11:00	予備日	
	13:00~15:00				13:00~15:00		



# JAグループ通信

発信元:JAグループ北海道第29号

JA北海道  
中央会

11月13日、JAグループ北海道の役職員はじめ約2400名が参加し、「第29回JA北海道大会」を開催しました。大会では、将来ビジョン『北海道550万人と共に創る「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村」』の実現を継承し、重要性を増す「協同組合の価値と実践」を決議しました。協同の力と総合力を発揮し、一丸となって決議事項の実践を通じた自己改革に取り組みます。決議事項の実践内容や農業・JA・協同組合の意義や価値の発信により、北海道550万人から信頼されるJAグループ北海道を目指します。



## ホクレン

北海道の味覚を一堂に集めた毎年恒例秋のイベント「2018 第47回ホクレン大収穫祭」を札幌三越本館で開催しました。今年にはJA北海道女性協議会の「私の心を込めた農畜産物おむすび!」とJA北海道農協青年部協議会の「農業クイズ」などの生産者参加イベントも行われ、大収穫祭を盛り上げ、連日、どの売り場も秋の味覚を求める人々で大盛況でした。



## JA北海道信連

9月に札幌市において、小学生が社会の仕組みを学ぶ職業体験イベント「ミニさっぽろ」が開催され、JAバンク北海道では金融機関という役割で参加しました。JAバンクでは、お金の数え方の練習やお仕事体験した子へお給料を支払う仕事を体験してもらい、中には「お金持ちになりたい」とお礼の束を広げる子どもも…。未来のサポーターづくりへ、来年以降も参加していきたいと思えます。



## JA北海道厚生連

組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非ご一読ください。



## JA共済連北海道

10月27日(土)にANAクラウンプラザホテル札幌にて、第45回目となる「平成30年度JA共済全道小・中学生交通安全ポスターコンクール」の表彰式を開催しました。全道より4,342点の応募をいただいた中から金賞9作品が選出され、受賞されたみなさんが表彰されました。今回受賞された作品は、さっぽろ雪まつり会場・道庁ホールでの展示等が予定されております。



## 理事会だより

### 定例理事会

11月21日

#### 《報告》

- ①平成30年10月末現在、業務財務報告
- ②常務委員会報告
- ③コンプライアンス委員会報告
- ④農家経済改善対策委員会報告
- ⑤JA農場活用推進委員会報告
- ⑥平成30年度第Ⅲ・四半期末組合員加入脱退状況報告
- ⑦平成30年度第Ⅲ・四半期末余裕金運用報告
- ⑧平成30年度第Ⅲ・四半期末総合ポイント制度実績報告
- ⑨平成30年度第Ⅲ・四半期末固定資産取得状況報告
- ⑩反社会的勢力との疑わしい取引の届け出状況報告
- ⑪農業振興基金事業実施完了報告
- ⑫平成30年度決算推定報告(10月末)
- ⑬その他

#### 《議案》

- ①平成30年度第Ⅲ・四半期末監査意見等報告
- ②理事に対する資金の貸付について
- ③大口貸出先且つ理事並びに特定組合員を含む団体に対する資金の貸付について
- ④大口貸出先且つ特定組合員に対する資金貸付について

- ⑤特定組合員及び特定組合員を含む団体に対する資金の貸付について
- ⑥畑作物の直接支払交付金に係る数量対応方策について
- ⑦平成30年産グリーンアスパラ最終精算について
- ⑧その他

#### 《その他報告事項》

- ①産地交付金追加配分報告
- ②平成30年産米・大豆集荷状況報告
- ③生産施設操業状況報告
- ④経済事業業況報告
- ⑤その他

…全議案承認



天秤座



思い込みが激しくなる気配。特に伝言ミスをしやすいため、ご用心。また、慣れている作業でも確認を徹底して

乙女座



レジャー運が盛り上がる予感。気の合う仲間たちとにぎやかに過ごして。新年会などの幹事役は進んで引き受けて吉

2019.1

祝 美明市農業協同組合青年部  
創立70周年記念式典



青年部特集 vol. 12  
70周年に当たって

想いも開き一

私たち青年部は、11月10日に青年部創立70周年記念式典・祝賀会を開催しました。青年部員、来賓の方々を含め74名出席のもと、第45代から第54代の歴代部長9名、第14代から第18代の歴代事務局5名への感謝状贈呈並

びに青年部組織に注力された2名の方への特別表彰状贈呈を行いました。今回受賞された歴代部長・事務局の皆様方には今日までの青年部組織発展の為に多大なるご尽力を頂き、改めて感謝を申し上げます。この記念事業を実施するに際し、本格的に準備を進めるため2月から実行委員会を立ち上げ、記念式典の挙行と記念誌の発行を柱に考え、加えて「青年部シンボルキャラクター（おぼろ関）」、「青年部オリジナルのピザ窯」を実行委員が中心となって制作。6月には歴代部長座談会も開催しました。記念事業成功に向け全力で取り組み、実行委員が団結し同じ時間を共有できたことは大変貴重な思い出にもなりました。

最後に、歴代部長を始めとする青年部OBの方々、農協関係者の皆様のご指導ご協力を頂き、無事記念式典、祝賀会を終えることができましたことに感謝申し上げます。この記念すべき70周年を核として更なる団結を高め、よりよい組織を作る為に今後も活動して参ります。今後ともより一層のご支援、ご協力をよろしく願います。

JA YOUTH  
今回は、部長・米内彰吾（上美頃）が担当しました。

こよみ・行事  
1月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

- 1日○元旦
- 2日○Aコープコア店仕事始め
- 4日○Aコープ本店仕事始め  
○信用部仕事始め
- 7日○仕事始め
- 14日○成人の日
- 16日○企画会議
- 18日○定例理事会
- 25日○臨時理事会
- 29日○全国監査機構期中監査Ⅲ  
(～30日まで)
- 31日○決算棚卸

資格試験合格  
おめでとう



- 平成 30 年度 土地改良換地士資格試験  
【合格者】 土地改良課・高橋直也
- 平成 30 年度 農協資格認定試験《初級》  
【合格者】 金融課・池田真由美



最新の  
営農技術から  
農畜産物の  
市場見通まで...

購読のお申し込みはJAへ  
定価1か月2,520円



# 農業者年金には **メリット** がいっぱい

支払った保険料は家族の分も含めて全額社会保険料控除の対象になります。

## 保険料控除分の節税額（所得税・住民税）の目安

課税対象所得	税率	保険料月額	
		4万円の場合 (年額48万円)	6万7千円の場合 (年額80万4千円)
195万円以下	15.1%	7万2千円	12万1千円
195万円超 330万円以下	20.2%	9万7千円	16万2千円
330万円超 695万円以下	30.4%	14万7千円	24万5千円

民間の個人年金の場合は控除額の上限は5万円です。  
(平成24年1月1日以降の保険契約は4万円)

民間の  
個人年金より  
ずっと手厚い



※保険料支払分で控除される所得税+復興特別所得税+個人住民税の額の試算です。  
保険料支払い後も保険料支払い前と適用される税率に変更がないものとして試算しています。

▶▶ ちなみに…制度発足以降15年間の運用利回りは、年率+2.77%です。

■農業者年金のお問い合わせは…

JAびばい金融課（融資係） TEL (0126) 63-2163 (担当:安村、池田)

JAバンクから



新年は  
1月4日(金)  
より  
営業いたします

新年あけまして  
おめでとうござい  
ます

今年もJAびばい信用フロアを  
よろしく願っています。

貯金をされたお客様のために  
「福袋」を差し上げます。  
数に限りがございますので  
お早めにお越し下さい。



JAびばい

金融課 貯金係 6363-1216  
金融課 融資係 6363-1216  
共済推進課 6363-1216



水瓶座



何かと迷いが生まれやすいもよう。1人で悩まず、信頼できる相手に相談してみてください。気晴らしには音楽鑑賞が最適

山羊座



自分に自信が生まれそう。大胆にリーダーシップを発揮しましょう。また、未体験の世界に飛び込むのも大賛成

2019.1

新年あけましておめでとうございます



美唄市農業協同組合

代表理事組合長 岸 定人  
専務理事 伊藤 正人  
常務理事 岡 浩正  
常務委員 猪俣 康資  
常務副委員長 田中 徳雄  
理事 加藤 隆雄  
理事 水之上 彦隆  
理事 福井 和彦  
理事 土屋 雅匡  
理事 海鉾 則博  
理事 林 泰寛  
代表監事 伊藤 範明  
常勤監事 横井 由博  
監事 羽田 勝美



監査室 室 佐々木 昇  
管理部長 佐々木 昇  
管理部長 坂内 文仁  
管理部長 浅田 昭二  
総務課長 江林 真一  
融資審査課長 江林 真一  
信用部長 村井 敦  
信用部長 川原 満  
金融課長 川原 満  
共済推進課長 佐藤 仁志  
農業振興部 西川 賢  
農業振興部長 西川 賢  
企画相談課長 宮田 光  
土地改良課長 林 義恭  
営農販売部 原田 晴  
営農販売部長 原田 晴  
営農販売部次長 辻脇 良幸  
営農販売部次長 辻脇 良幸  
米麦課長 大場 順一  
農産園芸課長 北藤 吉浩  
農業資材課長 新谷 光昭

美唄市農協事業推進委員会 会長 白木 昭志  
美唄市農協役員報酬審議委員会 委員長 山口 勝利  
JAびばい青年部 部長 米内 彰吾  
JAびばい女性部 部長 川田 照子  
美唄米麦センター協議会 会長 桜井 龍雄  
美唄麦作営農組合 組長 水上 和彦  
株式会社 開発みどりふあむ 代表取締役 林 孝友  
アグリ山形合同会社 代表社員 桜井 龍雄  
西美唄米麦営農組合 組長 畑 井 二雄  
一心米麦営農組合 組長 井上 英明  
元村米麦営農組合 組長 太田 政徳  
上美唄米麦営農組合 組長 高橋 豊明  
沼の内営農組合 組長 藤原 国夫  
中村共同施設利用組合 組長 浅井 孝司  
美唄市農協蔬菜部会 会長 矢野 義夫  
美唄市農協玉葱部会 会長 要寛雅  
美唄市グリーンアスパラ生産組合 組長 西川 芳勝  
美唄市ハスカップ生産組合 組長 猪俣 康資  
美唄市きのこ生産出荷対策協議会 会長 笹原 俊明  
美唄市農協花き生産組合 組長 土屋 信博  
美唄市農協四季成りいちご生産組合 組長 鈴木 英昭  
美唄稲作振興会 会長 桑折 尚宏  
JAびばい「ゆめぴりか」生産部会 会長 今田 邦彦  
美唄市水稲直播研究会 会長 鈴木 孝典  
美唄農業情報システム研究会 会長 太田 秀樹  
美唄市農村機械化センター連合会 会長 畑 雄二  
美唄無人ヘリコプター協議会 会長 澁谷 克幸  
美唄先進農機研究会 会長 長谷川 彰徳  
美唄地区国営農地再編整備事業促進期成会 会長 伊藤 健蔵  
上美唄地区国営農地再編整備事業促進期成会 会長 金子 義彦  
西美唄地区国営農地再編整備事業促進期成会 会長 伊藤 健蔵  
美唄茶志内地区 国営農地再編整備事業促進期成会 会長 小西 政和  
北美唄地区土地改良事業推進期成会 会長 田村 敏数  
進徳一心地区土地改良事業推進期成会 会長 土屋 雅博  
Aコープびばい生産者直売部会 会長 太田 麗子  
美唄市農協生活改善運動推進協議会 会長 伊藤 正人 (順不同)

平成31年元旦

モナ・カサンドラ【プロフィール】 占いを学術的に解析する「ルネ・ヴァン・ダール研究所」の研究生となり、占星学のロジックを徹底的に解説・探求。コンピュータによるホロスコープ作成の道を歩いた。現在は執筆活動を始め、さらなる占星の研究を重ねている。  
ルネ・ヴァン・ダール研究所 <http://www.rene-v.com/>

魚座 今まで付き合ったことのないタイプと知り合える期間。飲み会には意欲的に参加して。趣味の集まりにも注目を

お悔やみ申しあげます

癸巳

▼足立 幸子 さん  
(九十七歳)

十一月七日死去

上美唄

▼花井 岩雄 さん  
(九十八歳)

十一月八日死去

一心

▼猪原 しげ子 さん  
(九十二歳)

十一月十七日死去

北美唄

▼田村 ミヨ さん  
(九十二歳)

十一月二十九日死去

美唄市農協生活改善  
運動推進協議会

# J A の 概 況

## <11月末>

○皆さんの貯金	25, 129, 446千円
○皆さんへの貸出金	5, 831, 763千円
○皆さんの出資金	712, 270千円
○組合員数	(正) 807人 (准)3, 875人 (計)4, 682人

## 編 集 後 記

11月13日、第29回JA北海道大会が札幌で開催され、全道から約2400人参加。当JAは岸定組合長をはじめ役員、女性部役員ら17名が出席しました。

大会は3年に1回開催されており、本大会では前回決議した、「北海道550万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある農村』の実現」を継承し、重要性を増す「協同組合の価値と実践」を新たに加え決議しました。

※「あぐり王国NEXT」に出演する森崎博之さんから力強いエールをいただきました。



# コア店 1月2・3日 12倍

2日 **あさ** 8時30分開店、3日 **あさ** 9時00分開店  
※閉店時間は、午後5時 午後6時

コア店は7日より通常営業（午前10時開店～午後7時閉店）となります。

**本店** 1月4日から **あさ** 9時00分開店  
※閉店時間は、午後6時

本店6日は休業。7日から通常営業（午前9時開店～午後6時閉店）となります。

